

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	奉仕係
■評価事業名称	地域図書館運営		
■評価事業コード	402100 - 050	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条・北上市立図書館規則第11条		
■関連計画の名称			
■事業の概要	図書資料の効果的活用と地域活動支援で、読書の輪を広げ地域住民の読書意欲が高まる。地域図書館の運営委託一常盤台地域土曜文庫、野中地域文庫(週1回の開館、資料の貸出・返却・行事開催他)		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	地域図書館運営	地域住民		野中地域文庫・常盤台地域土曜文庫の2地域文庫 利用者数 1,201人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	88	79	43	41	
人件費	494	327	243	79	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	582	406	286	120	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	3地域の開館延日数	360日	329日	268日	268日	土・日のほかに、「ふれあいディーサービス」等の公民館行事に合わせて開館したため、開館日数が増加した。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

02	3地域の延利用人数	2117人	2,302人	1163人	1,201人	開館日の増・開館時間の延長(午後も2時間開館)により利用者も増加した。特に一般の利用者が増えている。(例 常盤台土曜文庫)
03	3地域の延利用冊数	2,284冊	2,212冊	1,018冊	1,101冊	2地域図書館の利用冊数の合計
04	開館日数当りコスト	1.6千円	1.2千円	1.1千円	0.4千円	
05	利用人数当りコスト	0.3千円	0.1千円	0.25千円	0.1千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

図書館の支援により、地域住民の読書意欲を高めている。

問題点・課題等

地域のお世話係の貢献によるところが大きく、次世代への橋渡しを円滑に行うための人材育成が今後の課題となる。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明